



2024年3月期決算補足説明資料

証券コード：2108 日本甜菜製糖株式会社

2024年5月14日



1. 【当期の業績 増収減益】

- ・砂糖事業の売上増加により増収となるが、砂糖事業の製造コスト増加、飼料事業の原材料価格やエネルギーコストの影響により、減益。

2. 【第2次日甜グループ中期経営計画】（詳細は13ページ以下）

- ・計画1年目である2024年3月期は砂糖生産量減少と製造コスト高止まりにより非常に厳しい状況。
- ・計画2年目は、適正価格での販売と一層のコストダウン、海外展開の早期実現等により、業容拡大を図る。

3. 【次期業績予想】（詳細は17ページ）

- ・上昇している砂糖相場は継続が見込まれるものの、当社製品の製造コストは依然として高い水準であるため、減収減益の見込み。

その他【自己株式取得を実施しました】

- ・取得した期間 2023年5月15日から2024年3月21日まで
- ・取得した株式の総数 518,100株
- ・株式の取得価額の総額 999,799,300円



1. 決算概要	5ページ～
2. 第2次日甜グループ中期経営計画	13ページ～
3. 次期(2025年3月期)の業績予想	17ページ
4. 資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応	19ページ
5. トピックス	21ページ～
6. 参考資料	25ページ～

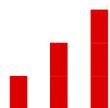


「てん菜」～持続可能な北海道農業～

「てん菜」は、「ビート」とも呼ばれる砂糖の原料となる植物です。

畑作の場合、地力（土地の生産力）を維持するために、輪作が欠かせません。

冬季の長い北海道では栽培できる作物が限られます。北海道では小麦、ジャガイモ、(豆)、てん菜を順番に栽培する輪作体系が確立しています。



1. 決算概要



- 砂糖事業の販売価格上昇に伴う売上高の増加
- 砂糖事業の製造コスト増加、飼料事業の原材料価格やエネルギーコストの影響により、減益
- 営業利益は前年比▲595百万円（▲39.5%）

単位：百万円

	2023年3月期	2024年3月期			
	通期実績	通期実績	前年同期比	達成率 ※1	当初通期計画 ※1
売上高	65,013	69,297	6.6%	99.0%	70,000
売上原価	49,873	55,515	11.3%	—	—
売上総利益	15,139	13,781	▲9.0%	—	—
販売費及び一般管理費	13,632	12,870	▲5.6%	—	—
営業利益	1,506	910	▲39.5%	56.9%	1,600
売上高営業利益率	2.3%	1.3%	—	—	—
経常利益	1,993	1,802	▲9.6%	81.9%	2,200
売上高経常利益率	3.1%	2.6%	—	—	—
当期純利益	1,260	1,811	43.7%	120.8%	1,500

※1 達成率は2023年5月12日公表の当初通期計画の数値をもとに計算しております。なお、連結業績予想は2023年11月10日、2024年2月14日に修正しております。



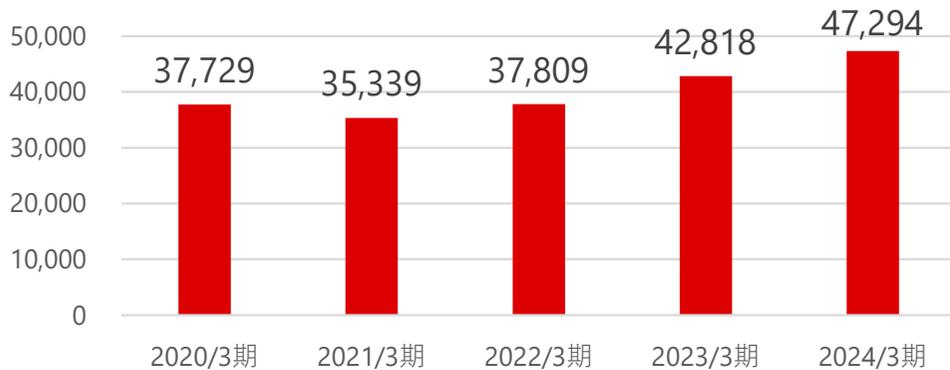
単位：百万円

	2023/3期	2024/3期	増減
売上高	42,818	47,294	+4,475
営業利益	▲243	▲552	▲309

- 売上高が前期比10.5%増、営業損失は増加
- コロナ禍で落ち込んでいた砂糖消費量は回復傾向、販売価格上昇
- 2023年産 原料てん菜は夏季の猛暑の影響等により低糖分、製造コストが著しく増加
- ビート原料糖のたな卸評価損は減少

売上高

単位：百万円



- 売上高はてん菜の豊凶、海外砂糖相場、国内砂糖消費量等、外部要因の影響大
- 一定の数量を超えるビート糖は、安価なビート原料糖として販売
- 国内消費量は長期的にみると減少傾向

営業利益

単位：百万円



- ビート原料糖は販売価格が低く、期末在庫量が増えるとたな卸資産評価損が拡大



単位：百万円

	2023/3期	2024/3期	増減
売上高	2,528	2,615	+86
営業利益	49	188	+138

- イースト、オリゴ糖いずれも適正価格での販売に努めたこと等により、売上高が増加
- エネルギーコスト増加の影響を受けるも、固定費削減等により、増益となる

売上高

単位：百万円



- イーストはほぼ販売数量を維持
- オリゴ糖含有液状甘味料の拡販により売上の確保に努めている

営業利益

単位：百万円



- オリゴ糖等食品素材の販売回復が課題
- フラクトオリゴ糖の拡販に努める



事業別 飼料事業

単位：百万円

	2023/3期	2024/3期	増減
売上高	12,536	12,673	+137
営業利益	440	121	▲318

- 配合飼料の売上数量は、牛乳の生産抑制解除と営業努力により回復傾向になり、売上高増加
- ビートパルプは、原料てん菜の収量減に伴い減産、エネルギーコストの影響あり

売上高

単位：百万円



- 機能性のある独自商品を継続的に市場へ投入
- ビートパルプ生産量はてん菜の豊凶に左右

営業利益

単位：百万円



- とうもろこし等原料価格が製造コストに大きく影響



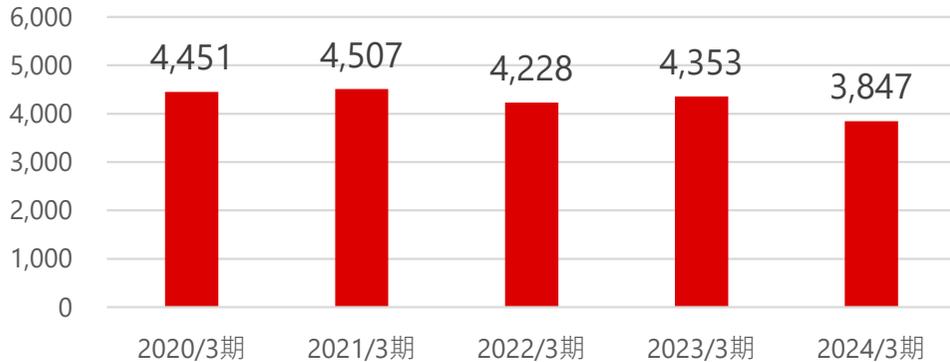
単位：百万円

	2023/3期	2024/3期	増減
売上高	4,353	3,847	▲505
営業利益	207	179	▲28

- 直播※率の増加により、ビート用紙筒販売数量が減少
- そ菜用紙筒は売上減少
- 移植機も売上減少

売上高

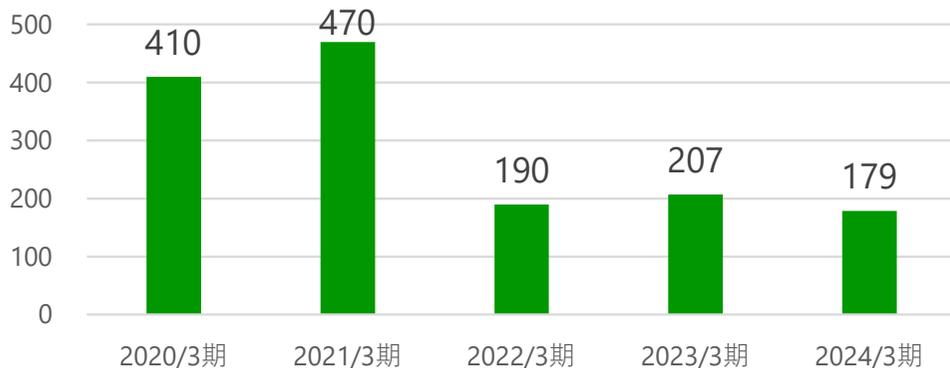
単位：百万円



- ビート用紙筒の売上は減少の趨勢
- ネギ用を主としたそ菜用紙筒で売上を補完、海外展開も積極的に推進
- ビート用移植機は、年度により受注数量の変動が大きい

営業利益

単位：百万円



- ビート用紙筒の減少を、そ菜用紙筒、農業機材の販売で利益補完、増益を図る

※直播：育苗ポット等を使用せず、直接田畑に種をまくこと



単位：百万円

	2023/3期	2024/3期	増減
売上高	1,510	1,462	▲48
営業利益	965	903	▲62

- 一部物件の稼働率の低下
- コスト削減に努めるも、売上高、利益ともに前期を下回る

売上高

単位：百万円



- 収益物件として、新規オフィスビル取得に向けて検討中
- 2024年2月より保育園に賃貸開始

営業利益

単位：百万円



- 各テナントとの友好的な関係の維持に努める



単位：百万円

	2023/3期	2024/3期	増減
売上高	1,265	1,404	+138
営業利益	70	65	▲4

- スポーツレジャー施設の売上が回復
- 貨物輸送減

売上高

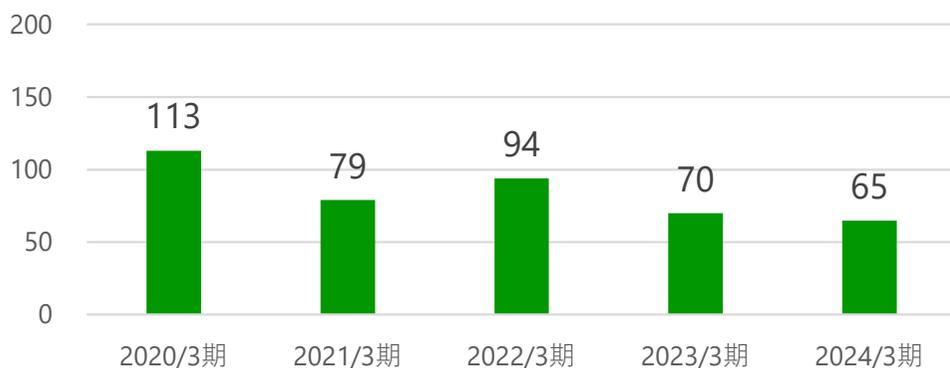
単位：百万円



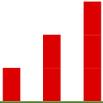
- スポーツレジャー施設は経済動向に左右される傾向が大きい

営業利益

単位：百万円



- 農産物の豊凶により輸送請負量が増減



2. 第2次日甜グループ中期経営計画 126期～130期(2023/4～2028/3)



基本方針

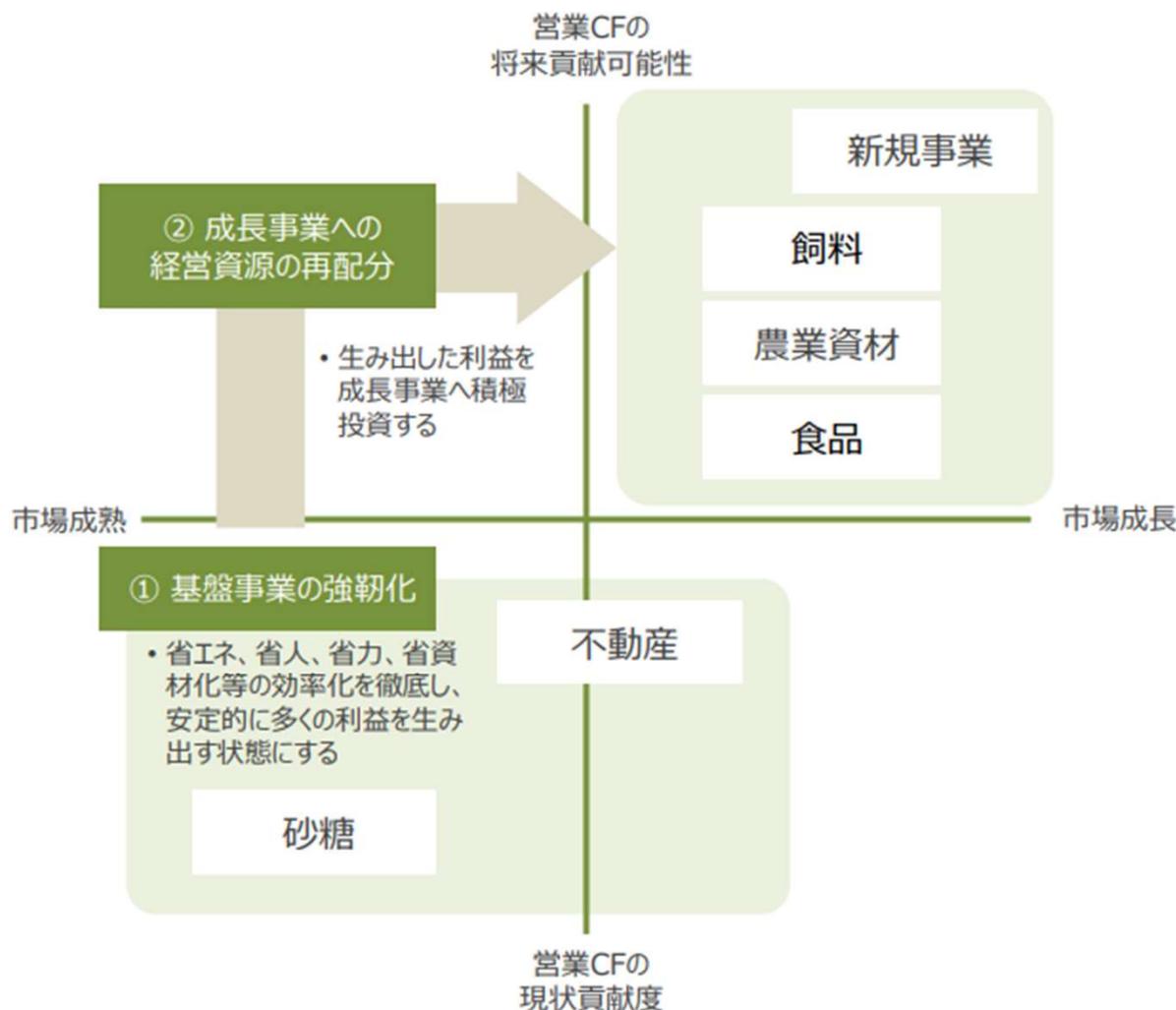
持続可能な**てん菜産業の創造にチャレンジし**、
安全・安心で幸せな社会の実現に貢献していく

目標値

	2022年度実績		2027年度目標
営業利益	1,506百万円	➔	2,400百万円
経常利益	1,993百万円	➔	2,800百万円

※ 詳細は2023年9月21日付「第2次中期経営計画(2024年3月期～2028年3月期)」をご参照ください。

https://www.nitten.co.jp/dcms_media/other/2nd_middleplan.pdf



- ③ 人材への投資
 - ・成長機会の提供などを通じ、多様な人材活躍と、ワークライフバランスに配慮した働き方を実現する
- ④ 安全衛生対策およびコンプライアンスの徹底
 - ・ハラスメント研修実施などを通じ、従業員が安心して働ける職場を構築していく
- ⑤ 環境負荷低減の取組強化
 - ・社内の使用エネルギーの見直しなどを通じ、環境負荷低減を実現する
- ⑥ 農業、産業など地域や社会への貢献
 - ・地産地消の食育活動などを通じ、地域の活性化に貢献していく

※ 詳細は2023年9月21日付「第2次中期経営計画(2024年3月期～2028年3月期)」をご参照ください。

https://www.nitten.co.jp/dcms_media/other/2nd_middleplan.pdf



第2次日甜グループ中期経営計画 経過ご報告 15



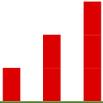
単位：百万円

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期 (予想)		2028年3月期 (目標)
売上高	65,013	69,297	67,000	• • •	—
営業利益	1,506	910	600	• • •	2,400
経常利益	1,993	1,802	1,200	• • •	2,800

- 2024年3月期は、原料てん菜が猛暑等により著しく低糖分となり、砂糖生産量が減少しました。加えて、燃料等の製造コストの高止まりにより、営業利益は910百万円と非常に厳しい状況となりました。
- 計画2年目となる2025年3月期は、作付面積減少によるてん菜生産力の縮小、製造コストの高止まりが計画推進の大きな足かせになるものと危惧され、営業利益は600百万円の見込みにとどまっております。
- このため、以下の施策に取り組み、業容拡大の実現に向けて取り組んでまいります。
 - ①既存事業における適正価格での販売の徹底と一層のコストダウンに努める
 - ②飼料事業・農業資材事業での海外展開（DFAⅢ、有機農業対応紙筒）の早期実現
 - ③製糖副産物の付加価値付与を目指したNorwegian Mycelium AS（NoMy社）との業務提携※ 等

※ 詳細は2024年4月22日付「製糖工程の副産物を活用した糸状菌タンパク質生産についての取組みについて」をご参照ください。

https://www.nitten.co.jp/news/20240422_technical_partnership/



3. 次期(2025年3月期)の業績予想 (第2次日甜グループ中期経営計画 2年度)

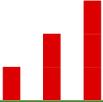


次期の業績予想について

- 上昇している砂糖相場は継続が見込まれる。
- 一方、各種資材価格は依然として高値で推移しており、砂糖を始めとした当社製品の製造コストは依然として高い水準が見込まれる。
- 適正価格での販売の徹底と一層のコストダウンに努める。

単位：百万円

	2024年3月期		2025年3月期			
	第2四半期 (累計) 実績	通期実績	第2四半期 (累計) 計画	通期計画	第2四半期 前期比	2024年 3月期比
売上高	32,408	69,297	30,000	67,000	△7.4%	△3.3%
売上原価	24,862	55,515	—	—	—	—
売上総利益	7,546	13,781	—	—	—	—
販売費及び一般管理費	6,317	12,870	—	—	—	—
営業利益	1,229	910	900	600	△26.8%	△34.1%
売上高営業利益率	3.8%	1.3%	3.0%	0.9%	—	—
経常利益	1,776	1,802	1,300	1,200	△26.8%	△33.4%
売上高経常利益率	5.5%	2.6%	4.3%	1.8%	—	—
当期純利益	1,246	1,811	6,300	6,200	405.5%	242.2%



4. 資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応



当社は、2024年3月末でROE 2.6%、PBR 0.37倍であり、改善に向け様々な対応を行うこととしております。

その1つとして、社内取締役及び執行役員で、企業価値向上実現に向けた会議を計5回開催し、現状分析と収益向上策を検討いたしました。

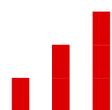
この会議に基づき、以下の改善策を立案いたしました。

1. 資本収益性の改善(各事業部門の収益改善対策)

- ・各事業部門について現状分析を用いた課題整理、及び収益改善に向けて取り組むべき事項の明確化。
- ・第2次中期経営計画に対して、更なる収益改善対策を行う事で営業利益の上積みを図る。
- ・てん菜産業への飛躍に向けた新規事業への進出。

2. 市場評価改善策

- ・個人投資家説明会を定期的で開催(2023年9月：札幌、2024年9月：東京)。
- ・政策保有株式を、2021年度から継続的に売却している。その売却総額は、2021年度約20億円、2022年度約2億円、2023年度約9億円であり、さらに縮減予定。
- ・株主還元強化策として自己株式の取得(2023年度、518,100株、約10億円)。
- ・当社株式の投資魅力を高めるため、株主優待制度を新設(2023年2月22日)。



5.トピックス



2022年4月、当社グループが目指す道標として、「日甜アグリーン戦略」を掲げましたが、このほどロゴも一新し、コンセプトブックを作成いたしました。

「アグリーン」は、「アグリカルチャー」と「グリーン」を掛け合わせた造語です。

当社は、事業の将来的な方向性として「てん菜糖業」から「てん菜産業」への飛躍を図ること、農業を基盤とした成長事業の展開を考えています。

砂糖原料にとらわれず、製糖工程の副産物を活用したバイオプラスチック原料の開発など、てん菜には未知の可能性が秘められており、てん菜を使い尽くすまで可能性の探求を続けてまいります。

詳しくは当社HPをご参照下さい。

https://www.nitten.co.jp/dcms_media/other/_nittenagreen_book.pdf



それは、常識にとらわれないアイデアに挑むプロジェクト。

人の健康のため

農業・酪農のため

地球環境のため

てん菜からつくるのは、砂糖だけじゃない。
パンの発酵を助けるイーストや、
牛のエサにだってなる。
樹脂や燃料など、食べもの以外にも化けていく。
畑では、てん菜のCO₂吸収力が注目される。
これまでのニッテンの成長は、
地域と農業なしではありえないもの。
いかにして、恩返しできるか。
合言葉は、アグリーンだ。
研究と情熱で、さあ、まだない価値をつくりだそう。

てん菜にできることは、
まだまだありそうです。



○環境に配慮した不動産事業の実現に向けて

～新築建物のZEB Ready（ゼブレディ）※認証取得～

東京都武蔵野市吉祥寺に所在する当社所有の土地を有効活用し、賃貸用物件として保育園が2024年1月31日に竣工いたしました。

この賃貸用物件は、ZEB Ready（ゼブレディ）※認証を取得しておりますので、快適な室内環境を保ちながら高効率な設備によってエネルギー削減を実現する、環境配慮型の建物になります。

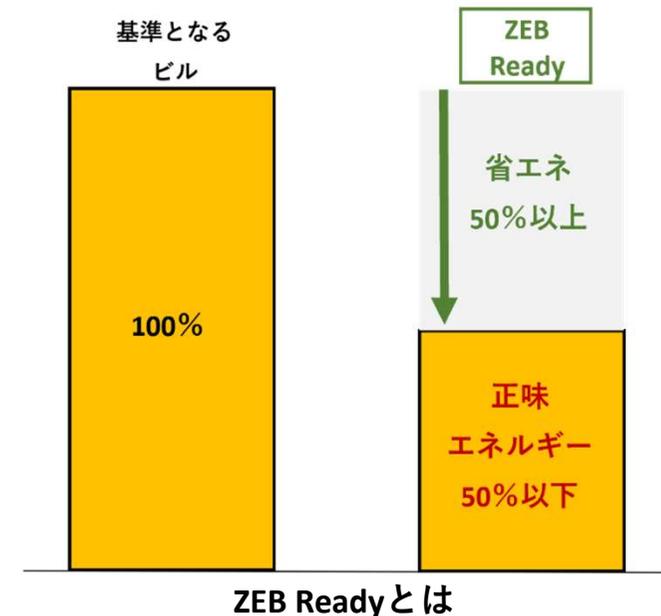
※ZEB Ready（ゼブレディ）とは、再エネを除き、基準一次エネルギー消費量から50%以上の一次エネルギー消費量を削減した建物



総合スポーツ保育園
(東京都武蔵野市吉祥寺)

当社は2030年度 環境数値目標として「CO2排出量 削減率 38%（2013年度比）」を、また、気候変動への対応として「各工場・オフィス・不動産事業等」で使用する電力・燃料のCO2排出量削減」を方針として掲げております。

今後とも、環境や社会に配慮し、事業を通じた持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいります。





○ホームページリニューアルのお知らせ

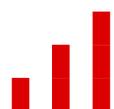
- ・訪問者が欲しい情報にアクセスし易くする
- ・デザインのブラッシュアップ
- ・当社ブランドのイメージアップ

をコンセプトに、ホームページをリニューアルいたしました。
(アドレスは変わりません。 <https://www.nitten.co.jp/>)

今まで以上に、事業展開を発信していきますので

皆様のご訪問、お待ちしております！





6. 参考資料



社名	にっぽんてんさいせいとうかぶしきかいしゃ 日本甜菜製糖株式会社
社名英訳	Nippon Beet Sugar Manufacturing Co.,Ltd.
本社所在地	〒108-0073 東京都港区三田三丁目12-14 ニッテン三田ビル
代表者	取締役社長 石栗 秀
資本金	82億7千9百万円
創立	1919年（大正8年）6月11日
従業員数	774名（連結）／633名（単体）
株式	東京証券取引所 プライム市場（証券コード 2108）

日本甜菜製糖グループ パーパス

畑から、食卓へ。
てん菜から広がる可能性を見だし、
人と環境にやさしいものづくりで、
北海道、そして日本の未来に貢献します。



日本甜菜製糖



畑から、食卓へ。

⇒日甜グループは畑から食卓まで全てに関わっている



てん菜から広がる可能性を見だし、

⇒日甜グループはてん菜を有効利用し、その価値を高めることができる

人と環境にやさしいものづくりで、

⇒人にやさしい＝誰かが喜ぶものづくり

⇒環境にやさしい＝環境負荷を減らすものづくり



北海道、そして日本の未来に貢献します。

⇒わたしたちが出来ること、すべきこと

北海道だけでなく、日本の未来も見据えた事業を行なっていく

わたしたちは、これからも持続可能なてん菜産業の発展に尽力して参ります。





主要な製造拠点は北海道にあり、北海道の地域経済と深くかかわっています。

●製糖所

- 芽室製糖所（河西郡芽室町）
- 美幌製糖所（網走郡美幌町）
- 士別製糖所（士別市）

●その他工場

- 清水バイオ工場（上川郡清水町）
- 清水紙筒工場（上川郡清水町）
- 江別種子工場（江別市）

●その他

- 札幌支社（札幌市）
- ビジネスセンター（河西郡芽室町）
- 総合研究所・飼料事業部（帯広市）

ビート資料館（帯広市）

- 子会社 十勝鉄道(株)・スズラン企業(株)（帯広市）
- サークル機工(株)（滝川市）
- 関連会社 とかち飼料(株)（広尾郡広尾町）

●北海道外の拠点

- 本社（東京都港区）
- 千葉物流センター（千葉県千葉市）

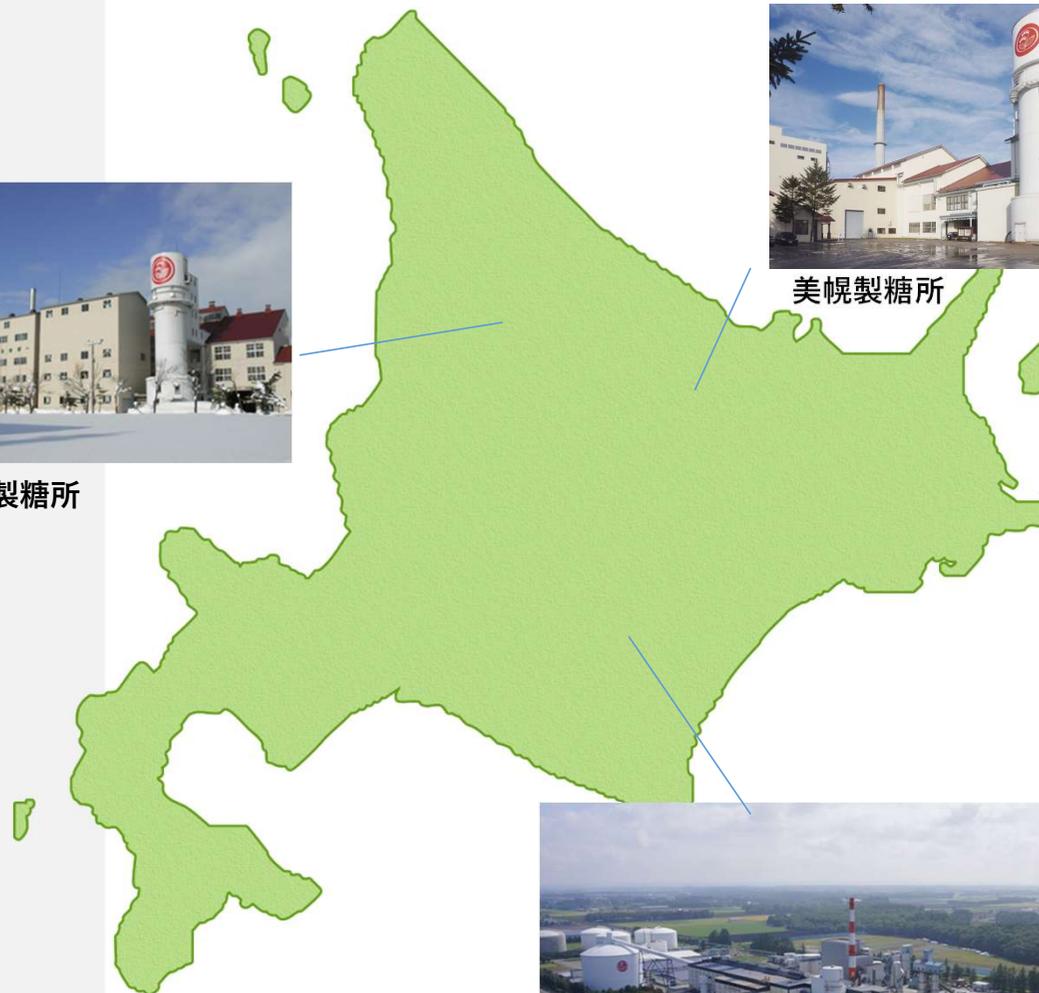
子会社 ニッテン商事（株）（千葉県千葉市）



士別製糖所



美幌製糖所



芽室製糖所



畑から、食卓へ。
てん菜から広がる可能性を見だし、
人と環境にやさしいものづくりで、
北海道、そして日本の未来に貢献します。

 日本甜菜製糖

パーパス (2023年策定)



「てん菜糖業」から「てん菜産業」へ ～ てん菜糖業を基盤として、多角化を推進

砂糖事業

- ・てん菜(ビート)から砂糖(ビート糖)を製造し、販売しております。
- ・輸入粗糖から精製糖を製造販売しております。

食品事業

- ・てん菜の糖液から砂糖を取ったあとの糖蜜を利用してイースト(パン酵母)やオリゴ糖を製造、てん菜に含まれるラフィーノス、ベタイン等を抽出して販売しております。

飼料事業

- ・てん菜の繊維分を、ビートパルプとして牛用の飼料として販売しております。
- ・ビートパルプにトウモロコシ等を配合し栄養価を高めた配合飼料を販売しております。

農業資材事業

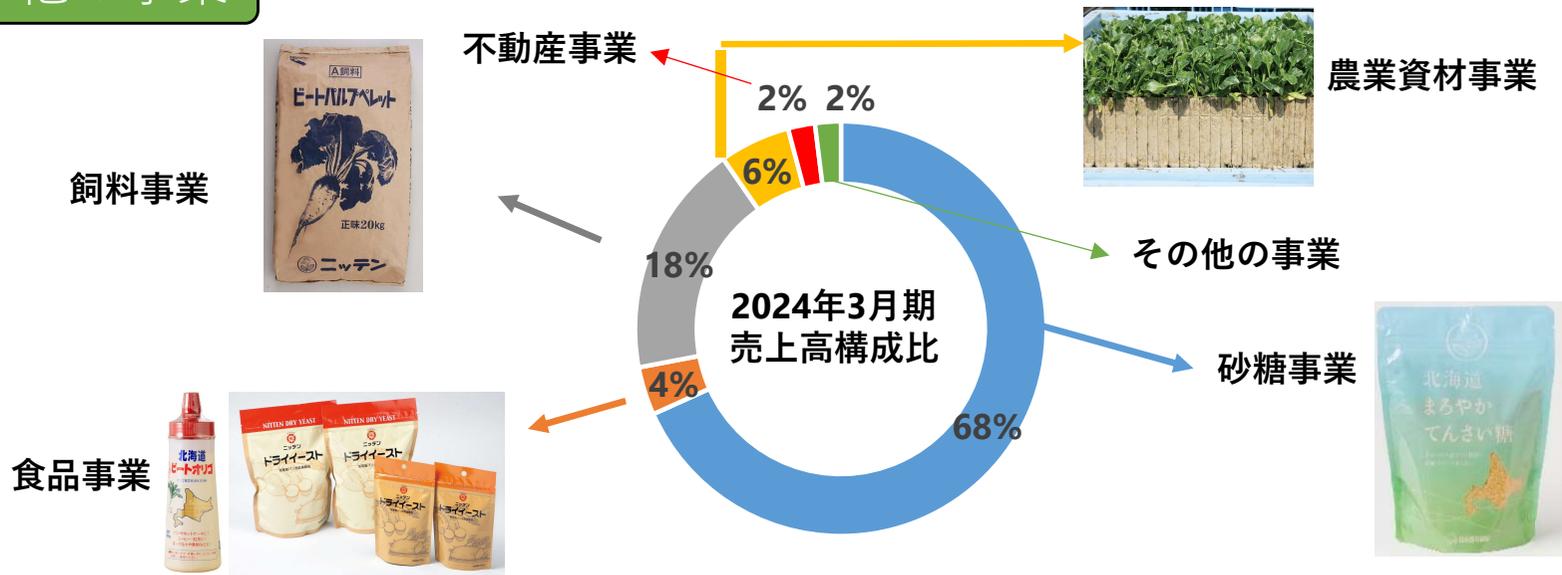
- ・てん菜の栽培技術を活かした、農業用資機材を販売しております。

不動産事業

- ・保有不動産の有効活用から始まり、投資物件も手掛けております。

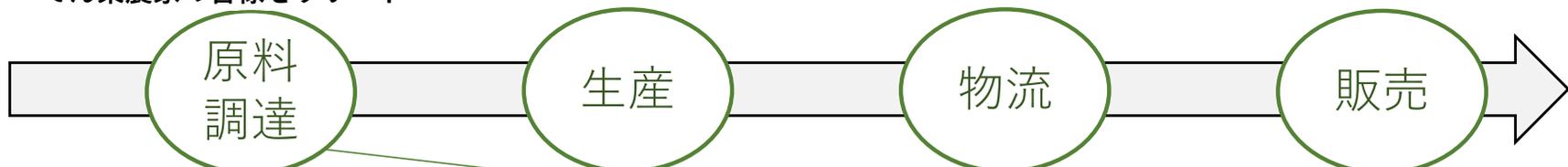
その他の事業

- ・てん菜の製糖所への搬入や、砂糖・配合飼料の運送をしております。





砂糖事業から他の事業へ派生しております



農業資材事業



てん菜栽培の技術を活用

子会社 **サークル機工(株)**
農業用機械・器具の製造・販売

その他事業

子会社 **十勝鉄道(株)**
原料てん菜の運搬
砂糖・配合飼料の運送

子会社 **スズラン企業(株)**
石油類販売

砂糖事業 **食品事業**

食品販売部 全国5カ所に営業所
子会社 **ニッテン商事(株)**

飼料事業

飼料事業部 北海道5カ所に営業所

農業資材事業

紙筒事業部 全国4カ所に営業所



砂糖事業

●事業概要

当社は寒冷な地域での栽培に適した**てん菜**を北海道（十勝、オホーツク、道央）の農家の方に栽培して頂き、収穫されたてん菜から砂糖を、北海道にある**芽室・美幌・士別の3製糖所**で製造しております。

当社は**ビート糖**で4割程度のシェアの他、また粗糖を原料とした**精糖**の製造販売も行い、北海道、西日本では**スズラン印の砂糖**として愛用されています。

業務用の砂糖は大手菓子、飲料メーカー等に販売、好評を頂いており、**国産で高品質の砂糖を安定的に供給できるのが当社の強み**です。

当社は、ビート糖、精糖を合わせ日本で消費される砂糖の1割強を供給しております。

ビート糖



家庭用 グラニュー糖と上白糖の小袋です（1Kg）。北海道産であり、大変好評を頂いております。

精糖



家庭用 三温糖 中双糖 白ザラ糖の小袋です（1Kg）。その他、グラニュー糖、上白糖もそろえております。



食品事業

●事業概要

当社では砂糖の他、副産物であるビート糖蜜を活用し、パン酵母（イースト）やオリゴ糖などの機能性素材を製造・販売、当社の主業である「砂糖」と合わせて、様々な食品素材を供給することで、食生活に彩りを添えております。

イーストは各種業務用のほか、家庭用のドライイーストも取り扱っております。
（日本でドライイーストを製造しているのは当社だけです）。

オリゴ糖は腸内の善玉菌であるビフィズス菌の栄養源となり、腸内の善玉菌を増やす効果があります。甘味度はショ糖の約7割で、上質で風味豊かな甘味を持っています。

てん菜に含まれる有用成分である、**ベタイン**（アミノ酸の一種）の製造・販売も行っております。

子会社 **ニッテン商事(株)**は製菓・製パン原料等を仕入・販売しており、昨年6月末にオープンしたニッテンオンラインショップ（<https://nitten-ec.shop-pro.jp/>）の運営を行っております。



とがち野酵母
（家庭用のドライイースト。
品種改良をしていない
野生酵母です。）



ラフィノース100
（てん菜から抽出した粉末状のオリゴ糖）



ビートオリゴ
（オリゴ糖を含む
液状甘味料）



食品事業 新製品

●新製品 北海道ドライイースト「旨パン職人」

「旨パン職人」は、予備発酵が不要なインスタントタイプで、バゲットや食パンなど無糖・低糖生地のパンづくりに最適な、これまでにないタイプの国産ドライイーストです。



大サイズ：500g
小サイズ：100g



無糖・低糖パンづくりに最適の国産ドライイースト。

食パン/ベーグル/バゲット/カンパニュ/ライ麦パン/プレッツェルなどに向いています。

予備発酵は不要

直接、粉に混ぜて使用できます。
ホームベーカリーにも最適。

パンのいいにおい

イースト臭が少なく、
小麦本来の香りが際立ちます。

おいしく焼ける

雑味が少なく、ほのかな甘み。
もちもち感があり、焼き色もきれいに。

日本甜菜製糖は、素材を活かす。北海道ドライイーストは製糖の副産物である「てん菜糖蜜」も使用して培養・製造しています。



日本甜菜製糖株式会社
東京都港区三田三丁目17番14号 tel.03-6414-5533 www.mitten.co.jp



飼料事業

●事業概要

「乳牛と肉牛の健康パートナー」として、酪農経営の安定と発展のため当社研究所において**独自に研究開発**した飼料を製造・販売しております。ニッテン配合飼料の理念は、乳牛の潜在的能力を科学で引き出し、健康に生産を続けられる飼料をお届けすることにあります。

当社の配合飼料はてん菜に含まれる繊維質であるビートパルプを主な原材料とするもののほか、イーストやオリゴ糖ならではの素材を配合した**機能性のある飼料**を取り揃えております。



「コウシのミカタ®」は初乳中の免疫グロブリンの吸収を促進するオリゴ糖を原料とした初乳用添加剤で、初乳に混ぜて給与するだけで仔牛を健康に育てることができます。

新製品 「ヘルスメル Z's (ジーズ)」



不良発酵サイレージの嗜好性を改善させる混合飼料です。

サイレージの発酵配合飼料に2kg混ぜて手間いらずのオールインワン飼料で、必須ミネラル、ビタミン、食塩、カルシウムの補給作業を軽減できます。



農業資材事業

●事業概要

育苗用の資材である「ペーパーポット®」とそれに関わる資機材を製造・販売しております。ペーパーポット®は60年間北海道のてん菜産業を支えてきた当社が開発した技術で、現在も多様な作物に使用されている環境にやさしい紙素材の製品です。

商品ブランドの一つである「チェーンポット®」シリーズは、鎖のように連結したポットが特長で、簡易移植器「ひっぱりくん®」と組み合わせる事で短時間で簡単に移植することができます。

てん菜用はもちろん、そ菜・花き・林木用があり、ネギ、レタス、キャベツ等の葉菜類の栽培等、国内だけでなく海外にも販路を広めています。

ペーパーポットの育苗用や移植用の**農業用機械・器具**、培土等も取り扱っており、子会社**サークル機工(株)**では農業用機械・器具の製造・販売を行っております。



紙筒を連結した「チェーンポット®」専用の移植機「ひっぱりくん®」



日本でのん菜の約5割、ネギの約3割に使われております。



ホームページリニューアルしました。
<https://www.paperpot.jp/>



不動産事業

●事業概要

東京都、北海道等で**オフィスビル、商業店舗等の賃貸**をしております。
帯広市の旧製糖所跡地の一部を再開発した地区（約17万㎡）は、道東で最大級の複合商業施設となっており、地域の皆様の暮らしに貢献しております。



北海道帯広市 複合商業施設

その他の事業

●事業概要

子会社 **十勝鉄道(株)**は、主に原料てん菜やビート糖・配合飼料の運送を行っております。確かな技術と信頼により、農業と輸送の新しいスタイルを提供し続けます。

子会社 **スズラン企業(株)**は、北海道帯広市・芽室町でスポーツ・レジャー事業(ボウリング場経営)、石油製品販売事業(石油製品販売・ガソリンスタンド経営)、保険事業(生命・損害保険代理店)を行っております。

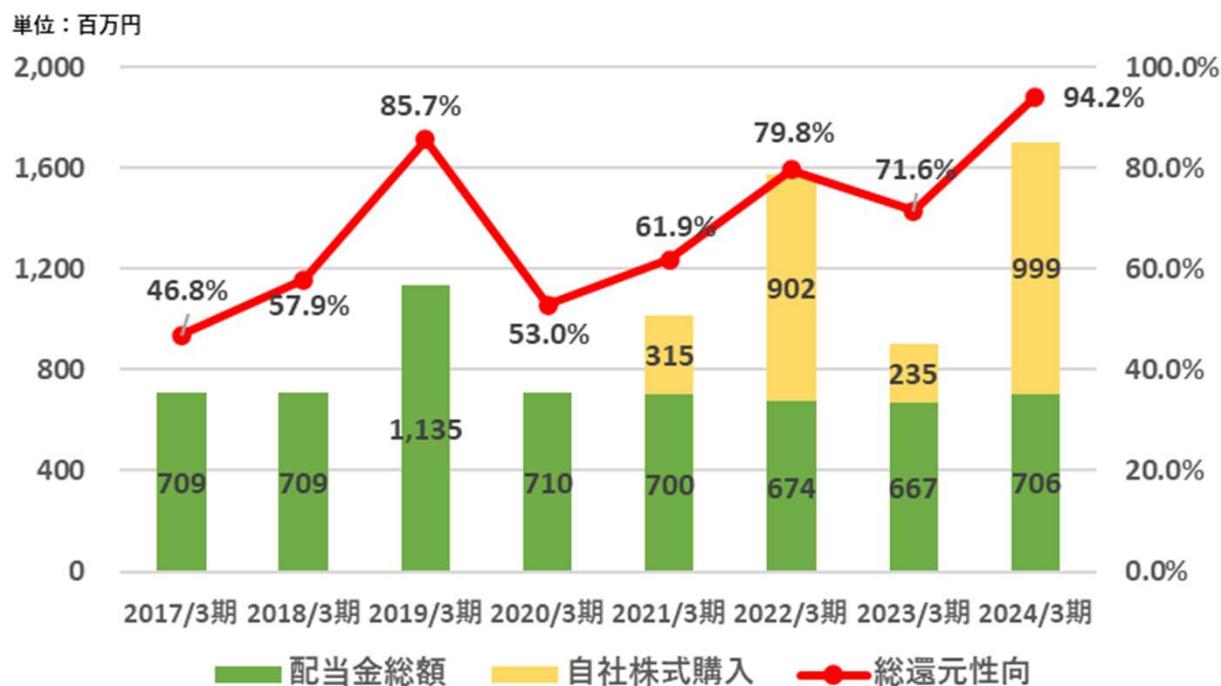


スズラン企業(株) 帯広スズランボウル



●株主の皆様への適切な利益還元を経営上の重要な政策と位置づけております。

- 2024年3月期から配当方針を「1株あたり50円以上」と変更し、2024年3月期の配当は55円を予定しております。
- 必要に応じて自己株式の取得を検討いたします。



※2019/3期は1株につき50円の普通配当に加え、30円の創立100周年記念配当を実施いたしました。

※2024/3期は1株につき50円の普通配当に加え、5円の特別配当を予定しております。

※2016年10月に株式併合（10株を1株に併合）を実施しております。

※総還元性向は（配当金の総額＋自己株購入金額）／連結純利益で計算しております。（百万円未満切捨）



- 2022年4月 東京証券取引所市場第一部から新市場区分「プライム市場」へ移行しております。
- 証券コード 2108
- 新聞の経済面等では銘柄名が「甜菜糖」と記載されています。

株価チャート 2018年4月～2024年4月

(単位：円)





過去5年間の業績推移

- 当社グループは、売上高経常利益率を経営指標として設定し、目標とする売上高経常利益率を4.0%としております。

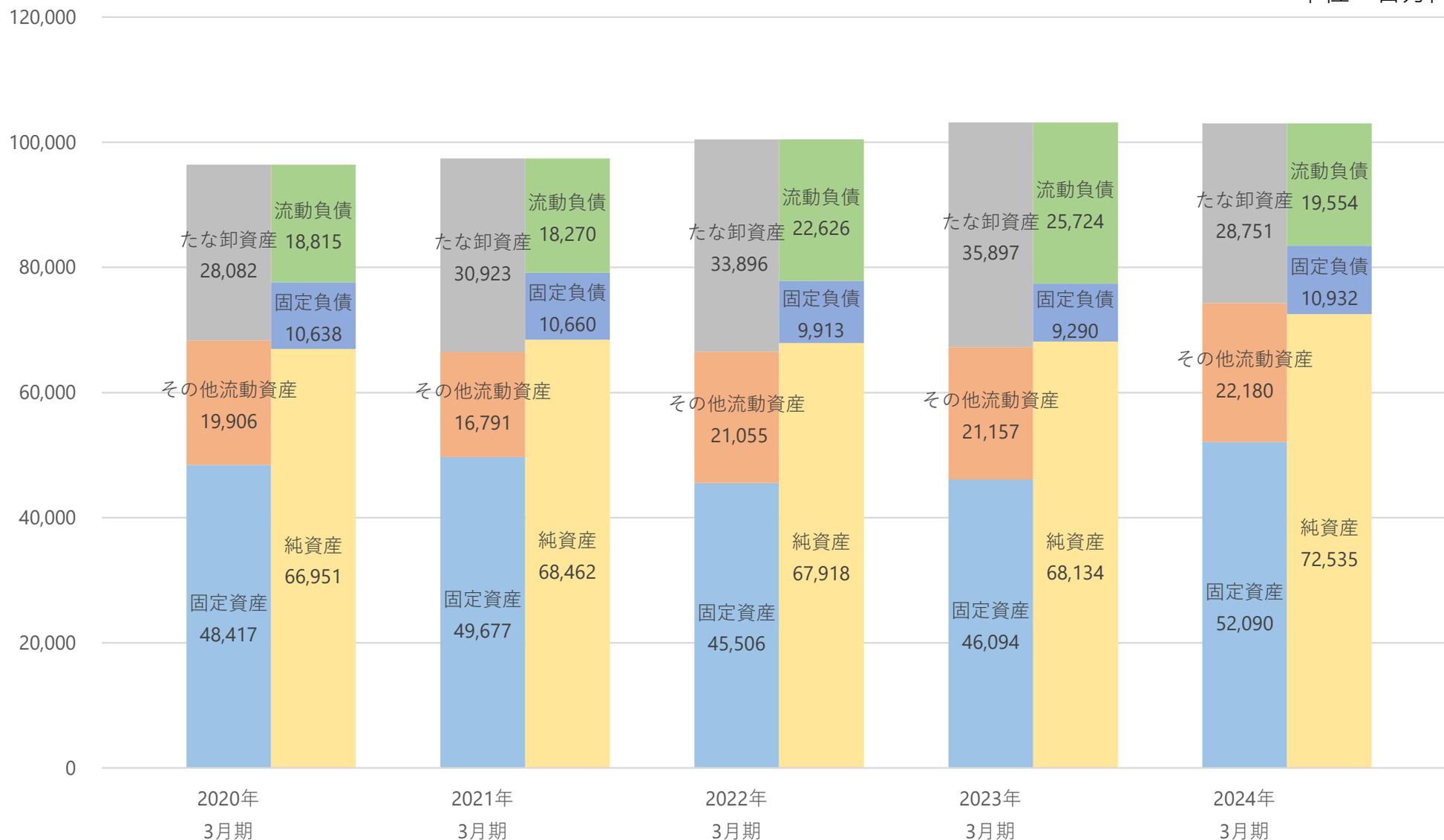
単位：百万円

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
売上高	57,021	54,792	58,492	65,013	69,297
経常利益	2,085	2,349	2,818	1,993	1,802
当期純利益	1,340	1,642	1,975	1,260	1,811
純資産額	66,951	68,462	67,918	68,134	72,535
総資産額	96,405	97,392	100,458	103,149	103,022
1株当たり 純資産額(単位:円)	4,714.90	4,886.11	5,037.45	5,102.17	5,647.57
1株当たり 当期純利益額(単位:円)	94.44	115.88	141.76	93.59	138.47
売上高経常利益率	3.7%	4.3%	4.8%	3.1%	2.6%
自己資本比率	69.4%	70.3%	67.6%	66.1%	70.4%
株主資本利益率 (ROE)	2.0%	2.4%	2.9%	1.9%	2.6%
売上高のうち砂糖事業の 占める割合	66.2%	64.5%	64.6%	65.9%	68.2%



連結貸借対照表の推移

単位：百万円



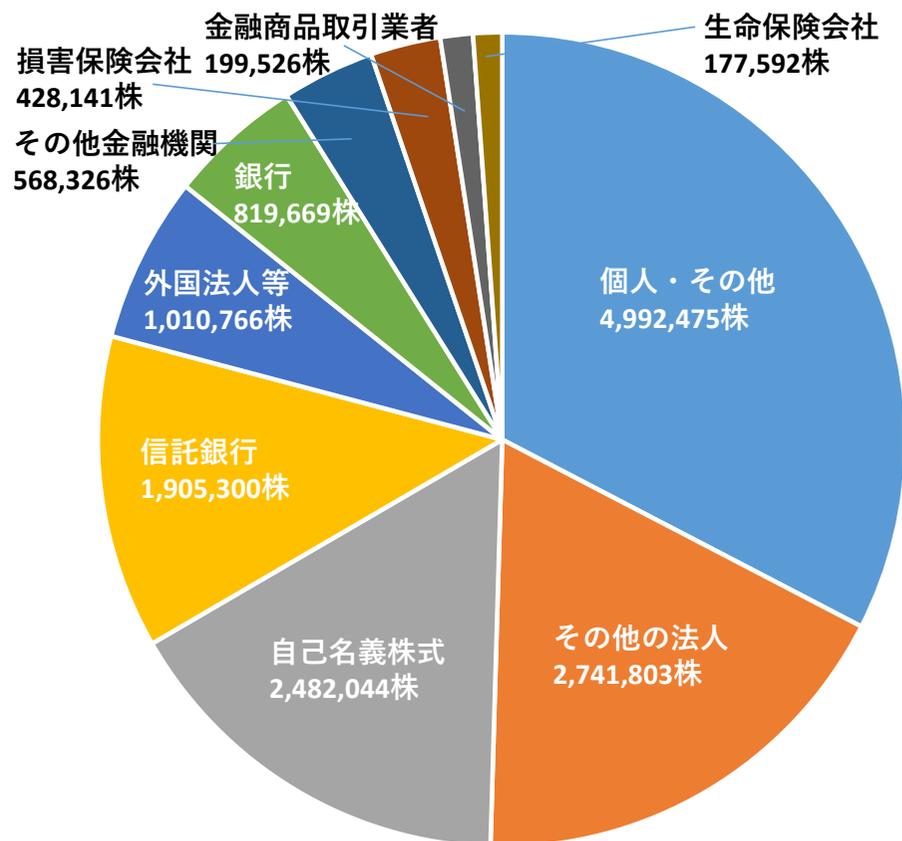
※てん菜糖製造は10月～5月ごろに行われるため、3月末のたな卸在庫が膨らみます。



大株主の状況

株主名	所有株式数 (株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	1,141,800	8.89
明治ホールディングス 株式会社	993,845	7.74
ニッテン共栄会	927,188	7.22
農林中央金庫	514,926	4.01
株式会社 日本カストディ銀行(信託口)	485,400	3.78
東京海上日動火災保険 株式会社	428,141	3.33
株式会社 みずほ銀行	355,183	2.77
NIPPON EXPRESS ホールディングス株式会社	320,288	2.49
スズラン持株会	268,656	2.09
DM三井製糖 ホールディングス株式会社	265,300	2.07

株主構成分布状況



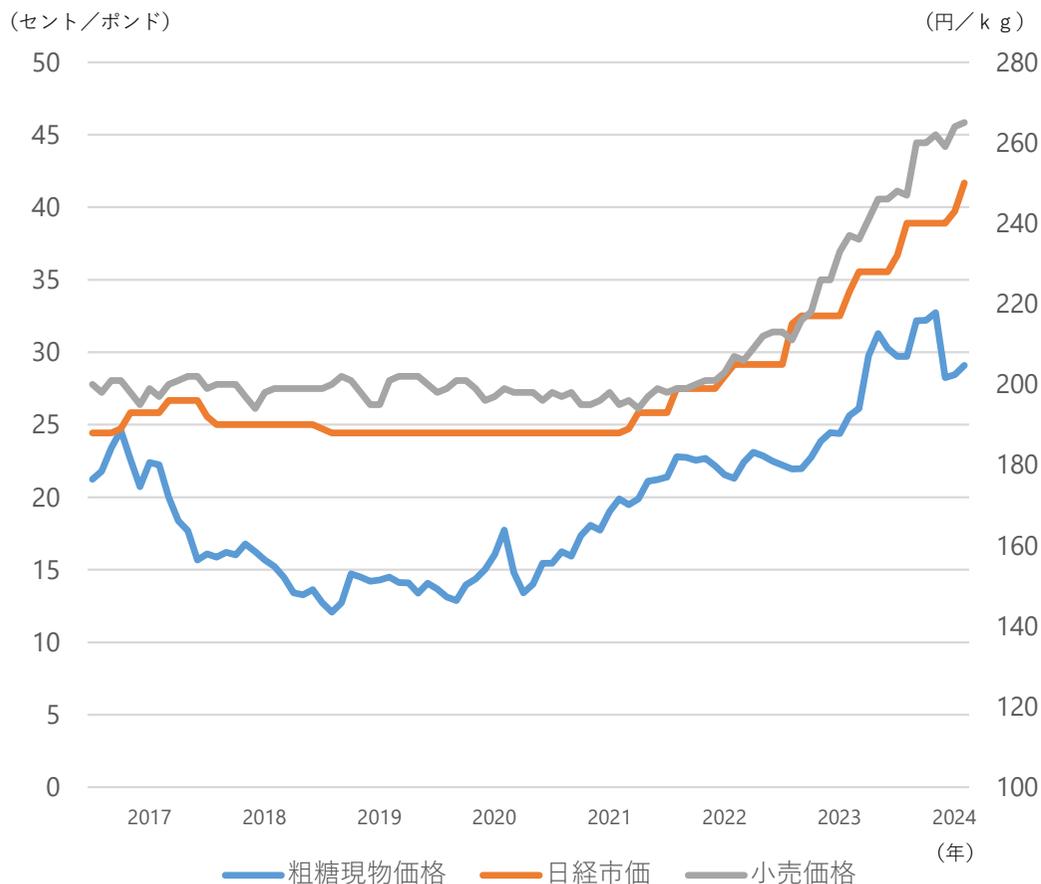
※当社は自己株式2,482,044株を所有しておりますが、上記大株主の記載からは除外しております。

※持株比率は、自己株式数を控除して算出しております。



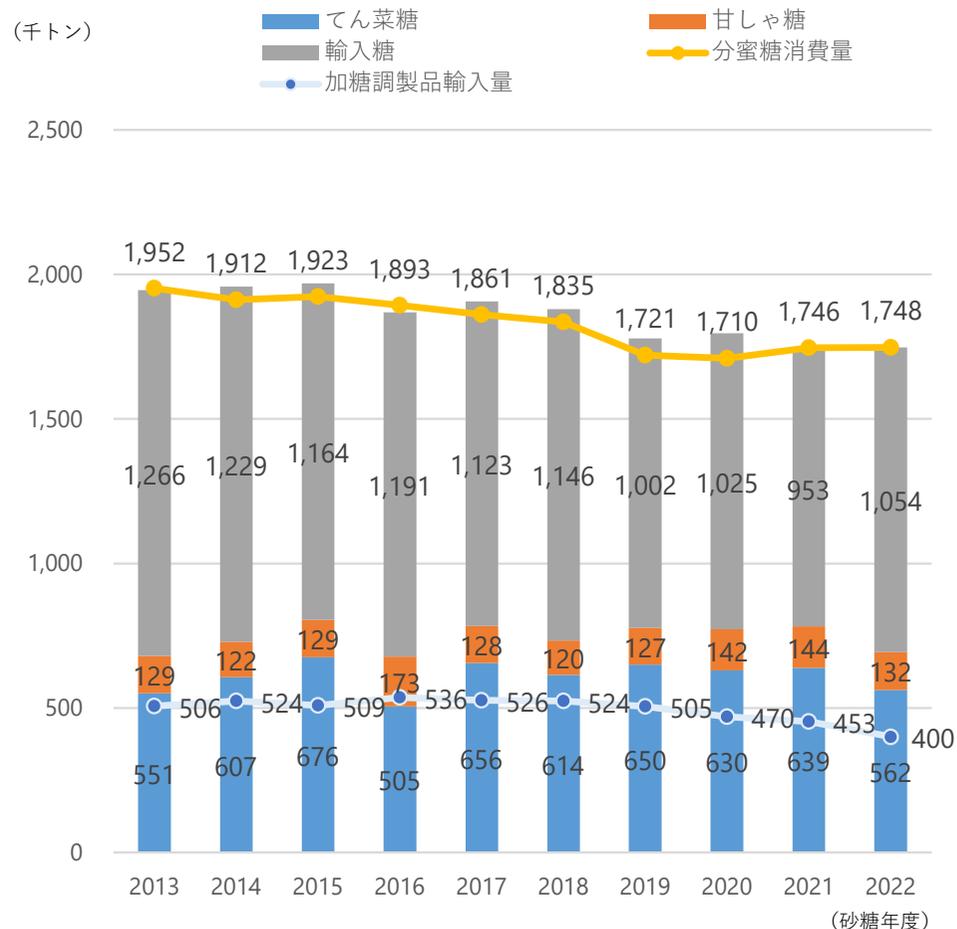
砂糖市場の推移

2024年2月現在



注1：小売価格は、総務省統計局調べ
 注2：日経市価は、日本経済新聞の市中相場（東京、上白、30kg大袋入り）の価格（消費税抜き）で、各月の平均値
 注3：粗糖現物価格は、東京商品取引所・大阪堂島商品取引所調査の粗糖現物価格（月平均価格）

砂糖消費量の推移



※砂糖年度とは、当該年の10月から翌年の9月までの期間

農林水産省「砂糖及び異性化糖の需給見通し」より当社作成

日本の食料自給率は約38%（カロリーベース、2022年度数値）ですが、その中で砂糖は米、野菜、魚介類に次いで高い自給率（カロリーベースで34%、2022年度数値）を持つ食品となっております。

国産の砂糖は北海道の「てん菜」、沖縄・鹿児島島の「サトウキビ」から作られておりますが、当社は国内で消費される砂糖のうち、約10%を国産として供給しており、日本の食料自給率の向上に貢献しております。

食料自給率の向上は、フードマイレージの観点から、環境負荷の低減にもつながります。

本資料は、作成時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして実際の業績等はこれらと異なる可能性があります。万一この情報に基づいて被ったいかなる損害につきましても当社は一切責任を負わないことをご承知おきください。

本資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。

【お問い合わせ先】

日本甜菜製糖株式会社

法務室法務課

ir@nitten.co.jp

